家庭掲示用

緊急時の対応

※保護者の方との連絡方法

石巻市立寄磯小学校

	震度５弱以上の地震		津波注意報	津波警報	大津波警報	暴風雨・台風・雷	屋内退避事態	
登校前	○登校せず、自宅で待機する （状況に応じ、安全な場所に避難する）。 ○防災行政無線やテレビ等の公共放送、または、学校、公共機関からの連絡で安全確認ができたら登校する。〈緊急メール配信〉		○登校せず、自宅で待機する（状況に応じ、安全な場所に避難する）。 ○防災行政無線やテレビ等の公共放送、または、学校、公共機関からの連絡で安全確認ができたら登校する。〈緊急メール配信〉			○防災行政無線やテレビ等の公共放送、または、学校、公共機関からの連絡で安全確認ができたら登校する。〈緊急メール配信〉	○登校せず、自宅で待機する。 （状況に応じ安全な場所に避難する） ○防災行政無線やテレビ等の公共放送、または、学校、公共機関からの連絡で安全確認ができたら登校する。 〈緊急メール配信〉	登校前
登校途中	○安全な場所に避難する（空き地など危険物が少ない場所）。 ・家が近い場合には、家に避難 ・家に誰もいない場合は学校に避難 ・学校が近い場合には、学校に避難 ※自宅を離れて学校以外に避難する場合は、学校へ連絡願います。 ○学校（教職員）は、児童の安否確認をする。 ・校内にいる児童の確認 ・家にいる児童の確認 （緊急メール配信、電話連絡、家庭訪問） ・通学路の点検		○安全な場所に避難し、学校に向かう。 ○絶対に浜には下りない。			○安全な場所に避難する。 ・家が近い場合は、家に避難 ・学校が近い場合は、学校に避難 ○学校（教職員）は、緊急メール配信を行うとともに、児童の安否確認を行う。 ・校内にいる児童の安全確保 ・家にいる児童の確認 〈緊急メール配信、電話連絡〉	○安全な場所に避難する。 ・家が近い場合は、家に避難 ・学校が近い場合は、学校に避難 ○学校（教職員）は、緊急メール配信を行うとともに、児童の安否確認を行う。 ・校内にいる児童の安全確保 ・家にいる児童の確認 〈緊急メール配信、電話連絡〉	登校途中
在校時	震度５弱以下 ○校舎前駐車場に避難する。 ・異状がなければ、授業再開 ・授業続行が困難な場合は、通学路の安全を確認した後、集団下校 〈緊急メール配信〉	震度５強以上 ○校舎前駐車場に避難する。 ・通学路の安全を確保した後、保護者引き渡し 〈緊急メール配信〉	○津波の到達予想時刻、到達予想高さ、学区内の道路状況を考慮して、引き渡しを検討する。 〈緊急メール配信〉	○警報報解除まで、校舎２階ホールで待機する。警報解除後に保護者引き渡しを行う。 ○警報から注意報に切り替わった場合は、注意報の対応に準ずる。 〈緊急メール配信〉	○校舎２階に避難し、警報報解除まで待機する（寄磯小体育館が地区の避難所になっているので、避難してきた保護者にも学校に留まっていただく）。 ○校地は、海抜４０ｍほどにあるが、更なる大きな津波が予想される場合は、校舎屋上へ避難する。 〈緊急メール配信〉	○授業続行が困難な場合は、通学路の安全を確認した後、集団下校または　保護者引渡し 〈緊急メール配信〉	○緊急放送をし、校舎内に児童を避難させる。 ・校舎内のすべてのドア・窓・カーテンを閉める。 ・校舎内では、できるだけ窓から離れた位置で机の下に避難させる。 ○異常がなければ授業を再開する。授業続行が困難な場合は、学校待機の措置を取り、緊急メール配信にて保護者に伝える。	在校時
下校途中	○安全な場所に避難する（空き地など危険物が少ない場所）。 ・家が近い場合には、家に避難 ・家に誰もいない場合は学校に避難 ・学校が近い場合には、学校に避難 ※自宅を離れて学校以外に避難する場合は、学校へ連絡願います。 ○学校（教職員）は、児童の安否確認をする。 ・校内にいる児童の確認 ・家にいる児童の確認 （緊急メール配信、電話連絡、家庭訪問） ・通学路の点検		○安全な場所に避難し、学校へ戻る。 ○絶対に浜には下りない。			○安全な場所に避難する（空き地など危険物が少ない場所）。 ・家が近い場合には、家に避難 ・家に誰もいない場合は学校に避難 ・学校が近い場合には、学校に避難	○安全な場所に避難する。 ・家が近い場合は、家に避難 ・学校が近い場合は、学校に避難 ○学校（教職員）は、緊急メール配信を行うとともに、児童の安否確認を行う。 ・校内にいる児童の安全確保 ・家にいる児童の確認 〈緊急メール配信、電話連絡〉	下校途中